（1）　日刊（除月曜）　昭和21年6月1日第三種郵便物認可　昭和24年2月23日運輸省特別扱承認第238号　いわき民報　夕刊　昭和27年10月24日　（金曜日）　第1975号

夕刊
いわき民報

発行所
平市田町 電381 1222
いわき民報社
編集兼発行印刷人 田原 登

書庫と金庫
藤森商会
平市鍛冶町二 電二九六、四七一

市内舗装二ヵ所決定

新川町と才槌小路近く着工

平市では復興計画と呼応して市内の道路舗装計画を進めていたが、懸案久しかった才槌小路と新川町の県道舗装が決定した旨通知があったため、二十三日午前十時から土木委員会を開いて市負担を協議し、二十七日の市会に半額市負担金を提案することになった

▼才槌小路、紺屋町（土橋）から踏切りまで延長二百六十七㍍、総工費百八十六万円、アスファルト簡易舗装ー（側溝工事を含む）

▼新川町、五丁目から大町交さ点まで延長二百七十五㍍、総工費百四十五万円、コンクリート舗装（側溝完了）

負担金は総額の半額を市と地元受益者が折半することに成って居り市では二十二日地元受益者の代表と懇談の結果、両町とも心よく承諾している

受益者負担金は才槌小路間口一㍍当り八百五十円ー新川町同一㍍当り六百七十円位に当っている

平市では才槌小路の舗装を機会に才槌小路奈加やから田町渡部理髪店まで未舗装市道の簡易舗装を併せて行う予定である

夢に描いた南米へ

齋藤さん姉妹渡米

けさ懐しの平市を出發

故国日本と永遠の別れを告げ夢にまで描いた南米ブラジルに移住することになった平市一丁目斎藤八重子さん（三〇）はタッタ一人の妹フミさん（二五）と一緒に二十六日横浜港から香港、コロンボ、ケープタウンを経由するオランダ船で出帆するため一切の荷造りを終え二十三日午前八時二十分常磐線上り列車で親しい友人たちに見送りを受け乍ら住み馴れし懐しの故郷平市に限りない思出を胸に秘めながら〝皆さん、さようなら〟の言葉を最後に旅立った―

○ーゆく先はブラジルのサンパウロ市、こゝに叔父さんに当るマリオ・渡辺さん（六七）と妻ミツさん（六二）が大きな食料品店を経営している、終戦後、斎藤さん一家と盛んに文通するようになった叔父さん一家は子供が無い上、だん〳〵年をとってくるので是非フミさんを養女に迎えたいと夢の国ブラジルの写真や土産品を贈って寄越した、斎藤さん一家は母を囲んで『行く、行かない』と単なる夕食後の話題位に語り合っていたが母が亡くなってからは一入叔父さん恋しさが募り頼りにする身寄りとて少く、去る五月渡米の決意をするに至ったものである、叔父もこの決意を知って大よろこびしブラジルに移住するための一切の手続きを終り旅費の心配も全部してくれた、斎藤さん姉妹はそのため外務省から旅券の発行許可を受けるため約半年もかゝってやっとこの程許可を得た、このため最初は妹のフミさんを連れて直ぐ帰郷するワケだった姉の八重子さんまでも『渡米するからには永住すること』といった強い希望が外務省から出されたため姉妹一緒に永住の覚悟で出発することになったのである

○ー出帆は二十六日（時間未定）横浜港からオランダ船チサダネ号で香港シンガポール、コロンボ、ケープタウン、サンパウロといった路順で一万五千マイルにのぼる三カ月の船舶旅行をすることになった、最初は飛行機でゆくワケだったが、いざ出発となると身廻品だけでもがさ張り飛行機ではムズかしいため船舶旅行となったものであるが、太平洋経由の船舶が思うように割当てられなかったところから、このような遠廻りな海路をとることになったもの

○ー斎藤さん姉妹に出発の感想をたずねると『何せ英語がダメでしよう、だから船の中がとても心配なんです、一万屯級の立派な船で特に叔父の心づかいから二等客に扱って頂くことになりましたが矢張り船酔いするなどと聴いているものですから心配です』とか弱い女性だけに心配が多い『でもサンパウロ市は日本人だけでも四万人もいると聴いていますから一寸安心してます』と叔父のそばに行けるということだけが最後の希望である『いざ、行くと決っても何んだか本当に行くのかどうか夢をみているようです、私達にとっては実に大きな冒険ですわー』とさびしさが漂う

○ー渡米以来、三十七年一度も日本に帰ったことがなく、斎藤さん姉妹もまだ一度も顔を合せたことがなく、文通による写真でしっているダケに、渡米の決意を固めるには仲々容易ではなかったワケである、サンパウロに着いた時沢山の乗客に混わっているので顔がわからないため『おりる時、青、赤、黄の三角旗をたてゝ下さい』というのが叔父の注文だそうだ『私達は永住の決意でゆきますが一度は必ず帰って来ます、この懐しい故郷がどうして忘られましょう』

○ー船の生活は日本食が無いかも知れないのでお米やミソ漬け、梅干しなどを持参してゆくといっている

▼ー斎藤さん姉妹は、姉の八重子さんが十五才、妹のフミさんが十才の時農学校の教師をしていた父の斎藤一衛氏が亡くなり水戸市から母のコマイさんと一家三人で昭和二十三年四月平市に移転した、その後頼りの綱にしていた母が二十五年十一月に病で亡くなり後に残った二姉妹は姉の八重子さんが母変りに妹の面倒をみ乍らか弱き女性だけでこの世間の荒波を乗り越えて来た、フミさんは東京の簿記学校を卒業した経歴から東邦銀行平支店に勤務することが出来、今年五月、退職するまでの三年間は上役の信用を深くし惜しまれ乍ら職場を去ったもので友人から愛せられていたゞけにいざ出発となると別離の悲しさは一入深いものがあった

○ー近親者はたった一人、常磐労組の元組合長だった渡辺勝治さんが義理の叔父に当っており横浜まで見送りについてゆくことになっている

（写真平を出発の斎藤さん姉妹）

簡保加入者會

廿四日に結成式

仙台郵政省では簡易保険事業の県下モデル局としてこの程平郵便局を指定、新しく『簡易保険加入者の会』を設置することになり来る二十四日午前十時から同局内で契約者三万人の代表者二十名を招き結成式を挙げることになった、この会は簡易保険事業の民主化を図るもので代表者の内から推せんで会長一名、副会長一名を選び今後の運営を計ることになった、代表者次の通り

長谷川政　堀喜一　神谷一郎　吉本キヨ　高橋清　根本善一郎　中野正雄　内木宗八　小野栄一　草野四郎平　増子喜治　松本喜市郎　遠藤欽弥　明智一郎　酒井ツネ　緑川佳一　実川弥太郎　塩濱あき　飯沼林一郎　鈴木守一

赤痢保菌者三名が

サンマ船に乗り出港

海上保安部 下船方手配

小名浜海上保安部では小名浜町役場並に平保健所からの要請により小名浜町栄町三三鈴木房吉さん所有第三海津丸（九九㌧）乗組漁夫白幡芳吉、小松信男、白幡盛＝いずれも住居、年令不詳＝の三名は赤痢保菌者として各地の海上保安部に手配した、同船は去る七日乗組員の小野寺栄吉さん（三三）が赤痢患者と判明したため十一日石巻保健所で乗組員全員の検便を実施したところこの三名が保菌者と判明した、ところが同船はサンマ漁場に向ったため隔離することが出来ず地元の平保健所に下船させてくれるように連絡のあったものだが同船は十七日小名浜、二十二日塩釜にサンマを水揚げしたまゝ再び出漁しているので手をやき、小名浜海上保安部に泣き込んだもの

常磐労組 三項目申入れ

新賃金交渉をめぐり十三日から四十八時間ストを終え十七日一番方から無期ストに突入した常磐炭鉱労組では二十日湯本、内郷、磐崎の二町一村に組合員の町村民税納入の一時延期、組合員の臨時就職生活資金の一時融資など三項目の申入れを行った、これに対し町村側では長期に亘るストを予想し二十三日の磐崎村会、二十四日の内郷町会終了後対策を協議回答することになった

江名町會

原案を可決

江名町定例町会は二十一日午前九時より開き、寄附採納

▼同町吉田紋次郎氏より亡父追善のため江名隣保館中之作分館備品購入費として二千円

▼江名鉄道株式会社々長石原幹市郎氏より県道江名、平線（同町字天カ作、中之作地内）道路改良工事地元負担金として八十二万六千五百円

▼中之作機船底曳漁協組より江名港浚渫工事費地元負担金として二十万円

それ〴〵可決したほか議会より選出する町教育委員会委員に加沢喜三郎氏（副議長）を選任、午後三時閉会した

秋のハイキング

湯本高校では二十八日全校生徒の秋季ハイキングを行う、一年川前二年小川、三年波立薬師

植田町會

あす開く

植田町では二十四日午前九時から町会を開催し左の案件を審議する

一、起債決議について一、町税条例の一部改正一、町教育委員選挙一、固定資産評価審査委員選任一、二十七年度歳入出追加予算

町議會協議會

廿四日小名濱

小名浜町では二十四日午後一時から町議会協議会を公民館で開き教育委員設置に伴う予算の更正案など二十七日開催予定町議会に提案する議案について打合せする

湯本町協議會

湯本町議会協議会は二十四日午後一時から役場会議室に開き町制三十周年記念式典並びに行事につき協議する、計画案は公民館主催の諸行事のほか自治功労者表彰素人演芸大会、仮装行列、マラソン競走及び各戸に名入手拭の配布など

無口スト

電産労組で

本格賃金要求闘争のためスト続行中の電産労組平分会では中央指令で二十三日午前八時から管内十五発電所の現場無口ストを実施した

あす浪曲大會

巴うの子一行

平市火防組では明二十四日午後四時から市公会堂で資金造成のため巴うの子一行を招き浪曲大会を開く前売券百円、当日券百卅円、前売券は市内有名店で販売

天気予報

二十三日

【今晩】北西の風よい天気ですが明け方ひえこむ

【明日】北西の風日中一時南風となり晴時々くもり、海上今晩は多少波立つが明日は大体おだやか、なお昨夕五時発令の海上警報特報は今朝八時解除

簡單な金融
貸附金参万円までは家族の保証人でも扱えます
財務局登録済 常磐商事株式會社
平市三丁目一 電話九二八番
社員招聘 二十五才以上の男子市内に身元確実な方
詳細面談

賣家屋（土地付）
▼場所
小名浜町辰見町十三番地
カ印網倉広場向
土地　十五坪
立坪　十二坪
小名浜町辰巳町十三番地
古物商 吉田尚

パチンコ機 中古品 新品
▽中古品 20―10 オール15 オール10
各種 一台 千円より 分譲
▽新品 新型各種入荷 御一覧下さい
メイパチンコ
平市銀座通 電一三八二

30―31	28―29	25―27
いとし子と耐えてゆかむ おどろき一家	旅姿人氣男 アチャコ青春手帳	お染半九郎 決戰高田の馬場

菊多劇場

おにくとおそうざい
ハムとソーセージ
[illegible] 電1282

專の店
チケット御利用下さい
靴専門店
菊一
平・三 電446

▼松たけ入
▼釜めし
百円
才槌小路
壽司の江戸川 電一〇二
紅小路
割烹 江戸[illegible] 電一四五六

明ルい閑静な部屋
家テい的な雰囲氣
成ホどと思召す
行キ届いた御奉仕
まタ今度は奥様と
御コし下さいませ
湯本ー小名浜間バス
小滝前下車 電小名浜103

特賣中
御婚禮家具一式
漆器 事務用家具
遠近に拘らず配達致します
家具和洋 製造販売
あるが
平・銀座 電223

皆様に御満足を頂ける自信と確信を以って専門の職人が不二屋独特のそばを御披露いたします
生そば うどん
ざるそば五〇円
天婦羅そば八〇円
もりかけ三〇円
その他各種
【出前迅速】
料理 江戸前寿司
二屋

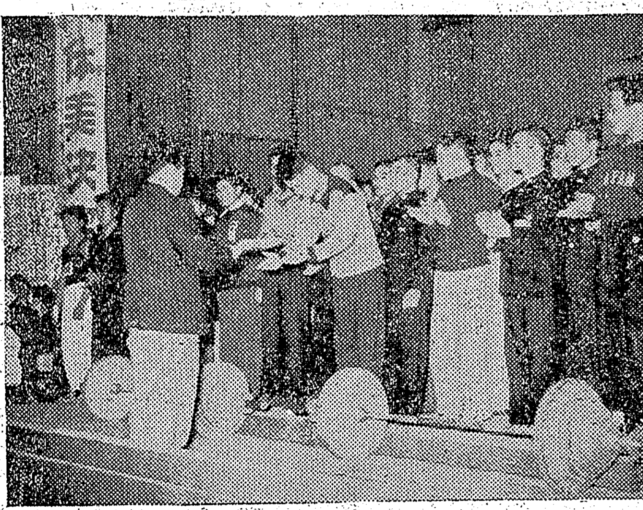
ありがた味 減った舶來
今年の純毛服地は一米の重
ポンド、つまり本場の英
ツダースフイールドもの
ツドフオードものとの
来品を有難がる必要
●おすゝめ出来る
●ドスキンW幅三
●ベネシヤン 〃

重量擧大會を省みて

新記録14を樹立

本縣勢 宿敵徳島を屠る

新記録十四、タイ記録十四と多くの好記録がうち立てられた第七回国体重量挙兼第十二回全日本重量挙選手権大会も二十二日午後五時、阿地大会委員長の閉会宣言で三日間にわたつて展開された華やかな大会のベールは閉じられた、福島勢は地元の期待に違わず大量四十点を獲得、宿敵徳島を撃破し見事に初優勝の功を成し遂げ本県重量挙の宿望を達し輝かしい伝統の第一歩を印した



寫眞は優勝の表彰をうける福島縣選手

本縣選手の樹てた記録

福島県選手の樹立した記録は次の通り

▼フライ級、南部良雄（一九）二四五キロ（プレス七〇、スナッチ七七・五＝日本新、ジャーク九七・五）＝二位

▼ライト級、松本智（二〇）二九〇キロ（プレス八五、スナッチ九〇＝大会タイ、ジャーク一一五＝大会タイ）＝二位

▼フエザー級、白鳥博義（一九）二七〇キロ（プレス八二・五、スナッチ八二・五、ジャーク一〇五）＝一位

▼ライトヘビー級、渡辺昌幸（一七）三七二・五キロ（プレス八〇＝日本タイ、スナッチ八五、ジャーク一〇七・五）＝三位

▼バンタム級、神谷公夫（一九）二六二・五キロ＝大会新（プレス七〇、スナッチ八七・五＝日本新、ジャーク一〇五＝日本タイ）＝一位

▼ミドル級、神谷務夫（二〇）二四〇キロ（プレス六五、スナッチ七五、ジャーク、一〇〇）＝十位

總合得點

参加都県の総合得点は次の通り

❶福島、競技得点40、天皇杯並に参加得点21❷徳島、38、18❸愛媛、31、13❹岡山、27、11❺東京、神奈川、15、9❻愛知、山口、13、5❼宮城、兵庫、12、3

康進丸が漂流

けさ巡視船が救助へ

小名浜町沖見佐川明さん所有あぐり魚船康進丸（二八トン）＝四名乗込み＝は茨城県磯浜から小名浜に向け廻航の途中、二十二日午後六時ごろ機関に故障を生じ小名浜南西三マイルの沖合で漂流していると二十三日朝小名浜海上保安部に求助方を求めてきたので同十時半巡視船『あけぼの丸』が現場に向つた

山田村消防團長逮捕

藤派の違反 身柄送検十九名

公職選挙法違反事件を摘発中の平地区署では二十二日夕刻山田村小山田材木商同村消防団長平沼武義（五七）を自由党落選候補藤二雄氏にからむ買收容疑で逮捕した、去る九月中同村農業金山又太郎（六三）に現金四千円を贈り藤候補への投票を依頼した疑いによるもので、去る十八日以降平地区署に任意出頭を求められた山田村関係者は同村郵便局長代理佐川安（四九）ほか二十六名となつた、また同署で任意出頭を求めて取調べたものは大野、四倉、赤井、箕輪、山田の一町四カ村で九十四名に上りこのうち身柄送検されたものは十八名となつている

溜池に轉落溺死

二十二日午後一時半ごろ植田町江畑農業高木敏之さんの長男孝ちやん（二）は自宅前の溜池に転落溺死した

夏井村の火事

二十三日午前十一時十分ごろ夏井村藤間字大越林七農業渡辺藤蔵さん（五三）方から出火、家屋一棟全焼正午ごろ鎮火した、原因は子供の火遊びから損害調査中

（24日）

前七・三〇 皆さんの声

後六・四五 ラジオ文芸『俳句』渡辺何鳴

第二

後〇・三〇 農業講座『今月の果樹園の管理』県園芸試験場

競技を顧みて

日本重量挙協会理事長 井口幸男

平市公会堂で三日間にわたつて行われた第七回国体競技大会は好天気に恵まれ連日満員の観衆をあつめ極めて盛会裡に幕を閉じた、参加選手百名を超えるというこの盛況をみて、一九三六年の第一回選手権大会当時を顧みてまことに感慨無量のものがある、大会が終つて新記録の作られるもの十四、タイ記録十四を数えるという成績はこの競技の著しい躍進を物語るもので参加選手の増加とゝもにこの競技が漸く各層に浸透しつゝある証拠で喜びにたえない、今大会では福島県が多くの優秀選手を出しているが、これは全国にさきがけて支部を設け、この競技の奨励に献身的努力を続けられた額賀支部長の功績多大なものがある、オリンピック選手の不調にかかわらずこのような好成績を残したことは明後年マニラで行われる第二回アジア大会に多くの輝かしい成果を収めることが期待される

來年も優勝の自信

監督 額賀靜思氏語る

輝かしい初優勝を遂げた福島県重量挙チーム監督額賀静思氏は初優勝の感想を次の通り語つた

神谷（兄）選手が一カ月半前から右肩の筋を痛めて不調なのが一番心配だつたが他の選手は予想通りの活躍をしてくれた、昨年も優勝の可能性はあつたが選手が若いのに加えて実質的な監督が居なく惜しいところで優勝を逸している、今年は私が監督となり規則的なトレーニングを行い更によく私の言うことを聞いてくれて全選手が気持を合わせて試合を進めたのが優勝の源でしよう、試合前はコンディションの調整を目的に神谷君の家で一週間合宿練習したのが良かつた、とにかく他県の監督や選手がうらやましがつている程チームワークが良くまた基礎訓練がよくホームが綺麗だつた、その他にオープンで参加した選手の記録も良く来年も優勝の自信は充分にあります

年齢の若いのが強味

阿地理事長談

本県重量挙競技育ての親、県重量挙協会理事長阿地遍海氏＝写＝は優勝のよろこびを次のように語つた

『昨年はわずか二点の差で徳島に惜敗したが今年度は好調の神谷（公）白鳥、南部、松本の四選手に期待をかけ是が非でも雪辱しなければならないと各選手必勝の意気に燃えて張切つた結果、案の定白鳥、神谷（公）の優勝、南部、神谷（公）の日本新記録樹立で万丈の気を吐き宿敵徳島を破ることが出来た、本県選手は平均年令が他県に較べて非常に若いのが強味で今後二、三年は本県選手の独壇場となろう、地元民各位の絶大なる声援に感謝して止まない

徳島の藤原選手優勝

ミドル級 神谷（兄）選手は不調

ミドル級（体重十五キロまで）決勝は十四選手参加して接戦を演じた地元代表神谷務夫選手は右肩筋の不調にもめげず良く頑張り賞讃された、藤原選手（徳島）はアジア大会選手の貫禄を示しプレス九五キロ、ジャーク一三〇キロと自己の持つ日本記録とタイ記録を樹立して優勝した、成績は次の通り

❶藤原八郎（徳島）三〇五キロ（プレス九五＝日本タイ、ジャーク一三〇＝日本タイ）❷滑村幾明（愛媛）二九〇キロ❸佐藤勝夫（岩手）二六七・五キロ❹西尾幸治（岡山）二五七・五キロ❺西村守（愛知）二五七・五キロ❻松谷定雄（東京）二五七・五キロ❼早坂睿男（宮城）二四五キロ❽荒木要（広島）二四五キロ❾清水源二郎（群馬）二四二・五キロ❿神谷務夫（福島）二四〇キロ

新記録數

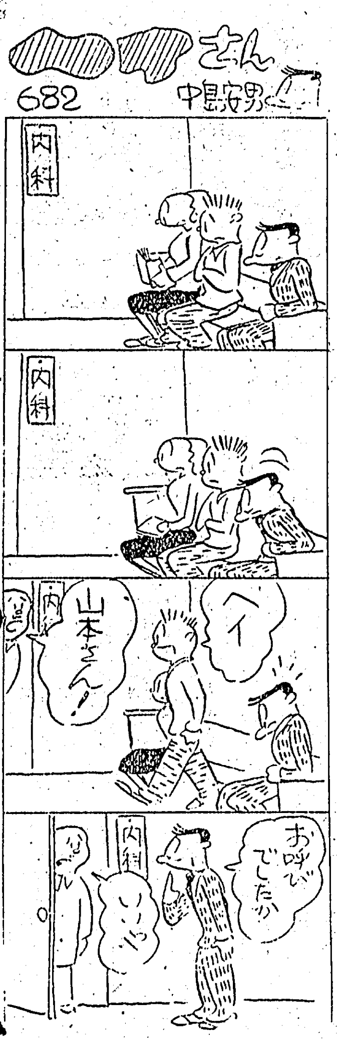
今大会の新記録数は次の通り

▼日本新記録十二

▼日本タイ記録九

▼大会新記録二

▼大会タイ記録五



♨ 室水 電四四二

明るい社交室 三人

銀座通りに皆様憩の茶房誕生 コーヒーとケーキの店 御家族同伴でお気軽にお立寄下さい 平銀座通り 純茶房 たて林 電六六五

産婦人科 平高田 松本醫院

利殖と金融 三菱殖産平營業所 本社 東京都千代田区神田神保町3－27 平市白銀町14（電1381）

天婦羅 大金

あかやのネクタイ

【最高級品】シンガー ブラザー トヨタ ヂユーキ パイン 石川ミシン商會 平市2丁目 電1232

皆様の利益を願る店
平の大黒屋本店 實用服地の會 實用着尺の會 實用呉服の會 純綿ネルの會
平の大黒屋支店 紳士用セビロ服地 純毛婦人・子供服地 七五三・子供服 冬メリヤス セーター Yシャツとネクタイ
湯本・小名濱店 純毛服地 實用服地 冬裏毛メリヤス 毛糸とセーター 實用呉服
大黒屋の土・日奉仕を御期待下さい

セーター 毛糸 ネクタイ Yシャツ 冬メリヤス 湯本 三久

労災保険指定診療所（入院室完備） 植田町本町六三 前田醫院 電話一二四番
外科（胃腸科） 整形外科 レントゲン科 前田春雄
内科 産婦人科 性病科 前田清美

産婦人科 平市材木町聚楽館前 中田医院 電話一〇九七番

労災保険指定病院 外科 整形外科 胃腸科 内科 性病科 婦人科 歯科 レントゲン科 平市南町三三（駅より大通り真直二丁）電一〇七 医療法人 松村病院 院長 松村亨 【入院随意】【往診随時】 部長 佐藤正雄 太田耕作 松村政次 顧問 小林喜久雄

信頼出來る商品 万年筆は専門店へ!! 岡萬年筆店 平市中央通 電三九九

外科 肛門科 上田醫院 平市南町（平局裏通） 電話一二九番

衣料品の店 かみ 平

耳鼻科 咽喉科 高柳 平駅前